

令和3年度厚生労働大臣表彰

## 建築大工の育成に貢献

金濱 繁 さん(上郷町)

建築大工職種の技能検定委員として検定の実施・普及に尽力し、金濱さんが同表彰を受けました。平成7年から同委員となり、技能士の育成や建築大工業界発展に貢献。遠野高等職業訓練校で指導もしている金濱さんは「訓練生の自主性を引き出す指導を心掛けている。今後も力を尽くしたい」と思いを語りました。



令和3年「鉄道の日」鉄道関係功労者大臣表彰

## 遠野駅に彩り添えて半世紀

華道教室 麗華会

遠野駅の美化活動に尽力した麗華会に、国土交通大臣から同表彰が贈られました。同会は、昭和44年から半世紀以上にわたり遠野駅待合室に生け花を飾り、駅を華やかに彩りました。多田禮子会長は「すばらしい表彰をいただき感謝。駅利用者からの言葉を力に変え、これからも続けていきたい」と話しました。



会長 多田禮子さん

ホストタウン功労者感謝状

## ブラジルとの絆を築いた遠野高1団体2個人に感謝状

2021「新しい『遠野物語』を創る」プロジェクト & 鍋割 祐花さん(2年)、齊藤 未優さん(同)  
(「Tono Soccer Laboratory 2021」チーム(遠野高等学校))

東京2020パラリンピックのホストタウンとして、共生社会実現に向けて取り組んだ活動が認められ、同プロジェクト、鍋割さん、齊藤さんに感謝状が贈呈されました。

同プロジェクトでは過去に、小中学生向けの障がい理解教室や5人制サッカーブラジル代表事前合宿のサポートなどを行い、本年度は同代表への

オンライン応援などを実施。鍋割さんと齊藤さんは、中学3年時に同代表の紹介ポスターやラジオ番組を制作して以来、動画メッセージやオンラインによる交流を重ねました。

同プロジェクトチームの原田さんは「自分たちの活動が認められてうれしい。今後も共生社会の実現を目指したい」と思いを語りました。



左から／菊池遼大さん(1年)、原田聖蓮さん(2年)、鍋割祐花さん(同)、齊藤未優さん(同)

令和2年国勢調査功績者総務大臣表彰

## 行政施策の基となる国勢調査に長年尽力

統計調査指導員 小松 福志 さん(小友町)

調査員として昭和55年から7回、指導員として2回国勢調査に従事。豊富な経験を生かした指導で調査に貢献し、後進の育成にも尽力しました。小松さんは「多くの人に協力いただいた。調査する理由など、統計の意味を皆さんに理解してもらえよう活動をしていきたい」と力を込めて話しました。



統計調査員 奥田 満 さん(松崎町)

昭和50年から10回にわたり国勢調査員を務め、迅速・正確な統計調査に力を尽くしました。調査にあたっては、住民への懇切丁寧な説明を行い、他の調査員の模範となりました。奥田さんは「正確な調査が正しい政策につながり、自分たちの暮らしに反映されると思い活動してきた」と振り返りました。



令和3年度PTA広報コンクール

## 学校と地域を結ぶ広報、遠野西中と土淵小が県最優秀賞

遠野西中 PTA広報『文の館』

遠野西中のPTA広報『文の館』と土淵小の『こがらせ』が、同コンクールの中学校の部と小学校の部でそれぞれ県最優秀賞を受賞しました。

同コンクールは、令和2年度に発行されたPTA広報の中から企画やデザインなどが優れた広報紙を表彰するもの。小学校42校、中学校67校の応募の中から、両校が県の頂点

土淵小 PTA広報『こがらせ』

に立ちました。令和2年度に遠野西中で広報作りを担当した菊池錠二さんは「子、親、地域の共通話題となる記事を意識した。結果的に受賞できてうれしい」と喜びの表情。土淵小の担当佐々木一樹さんは「家庭と学校の課題解決を目指して取り組んだ。受賞は、メンバーが持てる力を持ち寄った結果」と振り返りました。



『こがらせ』 児童が人文字でタイトルをかたどった『こがらせ』。読書を勧める企画などで豊富なインタビューを掲載した

**各種表彰** [敬称略]  
令和3年度県統計功労者表彰知事特別表彰(40年以上)  
松田賢一(小友町)、運萬治男(土淵町)、阿部弘(土淵町)  
令和3年度「水生生物による水質調査」  
▽県知事感謝状 遠野小学校  
令和3年度市内小中学校環境に関する標語等コンクール  
※各部門最優秀賞のみ  
【標語】▽小学校低学年 石田凜々子(上郷1)「こみかいじゅうこみばこまんがたべちゃうぞ」▽小学校高学年 阿部修大(遠野6)「温暖化防くあなたに金メダル」  
【ポスター】▽小学校低学年 阿部心々菜(遠野3)「きちんとかみをすてよう」▽小学校高学年 菊池芽唯(遠野5)「これからの未来へ」  
令和3年度環境フロンティア遠野写真コンテスト  
▽最優秀賞 高橋貞勝(奥州市)「壮観 宮守桜並木」(撮影場所/宮守町)

令和3年度自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰

## 長年地域づくりをけん引

市区長連絡協議会会長 遠野第14行政区自治会長 内館 充幸 さん(鶯崎町)

地域社会の維持・形成に力を尽くし、内館さんが同表彰を受けました。平成3年から同自治会長、平成24年から同協議会会長を歴任。地域の環境整備や新たなまちづくりの推進に寄与しました。内館さんは「地域の皆さんや関係機関の協力に感謝。人のつながりを大事にして今後も取り組んでいきたい」と語りました。



令和3年度秋季善行表彰

## 地域の安全を守る巡回活動

市消防団第6分団第5部

地域の安全を守る巡回活動を長年継続し表彰されました。同部の巡回活動は、防火や防災のほかに防犯を兼ねているのが特徴。消防団と自治会が連携し、4～11月に月2回ずつ行われています。一ノ渡泰博部長は「定期的な見回りにより地域の防災意識は高い。継続して、より安心な地域を目指す」と力を込めました。



部長 一ノ渡泰博さん

令和3年度中学生の「税についての作文」

## 税の大切さ説いて知事賞受賞

木元 小春 さん(遠野中3年)

同作文で、木元さんが岩手県知事賞を受賞しました。木元さんは、長期入院した家族の治療に税金が使われた例をあげて税金の必要性を説き、少子高齢化が進む社会で仕組みを継続させるため、国民同士の支え合いが大切と主張。「人の健康や生活を守るための税金。一人一人が関心をもってほしい」と訴えました。

